

〈学校教育目標〉 学び合う 支え合う 鍛え合う



雨竜小学校だより

発行 雨竜町立雨竜小学校

校長 三好考央

令和5年5月15日

第3号

〈めざす子どもの姿〉 4つのしっかり「あっ！そうか！！」

優しい心

生まれたてのころ人は、気を遣ったり、相手の気持ち理解したりするなどできず、自分の思いのままに生きています。それが、両親との関わり、兄弟姉妹や親戚、近所の人など多くの方々と触れあうことで、社会性が養われてきます。

小学校に入学する頃には、少しずつ相手の気持ちを考えて行動するようにはなっていますが、発達段階ではまだまだ自分本位での振る舞いが多い時期です。年を重ねる毎に他人への関わり方を学び、自分だけではなく相手のことを考えながら生活することができるようになってきます。小学生は6年生であっても発達の途中です。

始業式の日「優しい心」の持ち主になって欲しいと話しました。人と関わりながら生きていくためにとても大切なことです。「優しい心」があれば、無闇に友達をたたいたり、悪口を言ったりすることはありません。また、「優しい心」があれば、自分ばかりではなく、人に譲ってあげることもできるでしょう。子供同士のもめごとの多くはこの「優しい心」が足りなくて起こります。子供たちが大人になるとき、この気持ちをもって社会生活を送ることができるようにしてあげることが大切です。

集団下校班結成集会や児童会認証式、1年生を迎える会など様々な場面で「校長先生のお話」があります。児童会活動での「優しい心」とは何かなど、その折につけ関連づけて話をしています。今度の校長はいつも同じ話をすると思われているかも知れませんが、そのことの方が子供たちの心に残っていてくれるのだと思っています。

人の気持ちを考えたり、優しさを持って接することができる「いじめ」などは起こるはずがありません。まだまだ、成長途中の子供たちです。少しでも「優しい心」を育てるように、これからも職員一丸となり励ましていきます。

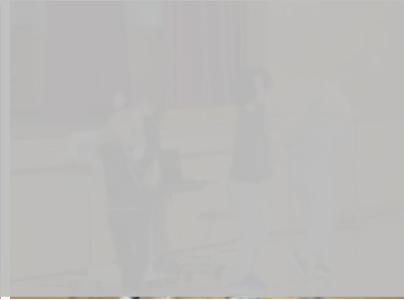
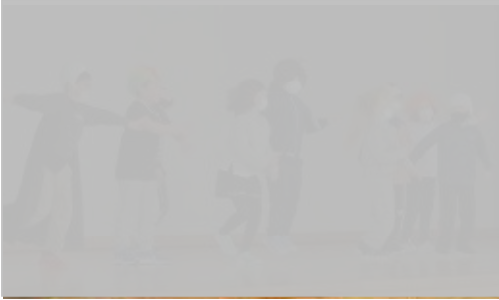
1年生を迎える会は「優しさ」に包まれた会となりました。各学年1年生のことを考え楽しんでもらえるよう工夫され、1年生を優しく迎えてあげようという気持ちが随所にあり心が温くなる1時間となりました。1年生もその「優しさ」に応え自己紹介やダンスを立派にやり遂げていました。

○1年生

入学して一ヶ月ですが、全員ステージの上で自己紹介が立派にできました。



○2年生
1年生に
○×クイズ
を出し、シ
ンキングタ
イムにダン
スなどを披
露しました。



○3年生
カツラなどか
ぶりながらの
楽しいダン
スで、会場
は笑いに包
まれていま
した。



○4年生
1年生に
面白いゲー
ムを教えて
楽しませて
あげていま
した。



○5年生
学校生活
に関するク
イズを出し
ダンスで盛
り上げまし
た。



○6年生
学校生活
に関するこ
とを大爆笑
のコントで
教えてあげ
ました。

全校で楽しめる集会は、子供たちの自主性を育むのに最適です。学年に応じて教師の関わり方に違いがあります。1年生であれば大部分が教師主導となり、学年が進むにつれ子供たちが考え取り組めるようにしています。学校では様々な活動全てに意味をもたせ、教育活動を推進しています。